

伝染病の侵入を防げ!



動物検疫所・家畜防疫官

「地味でも重要な役割を果たしている施設を紹介して」という読者の声に応えてスタートした「シリーズ・港の仕事人」。第一回は動物検疫所の家畜防疫官。先月はその目的(海外から輸入される動物や畜産物を検査して伝染病の侵入を防ぎ、国民の食の安全を守る)や畜産物検査の実際(加熱

シリーズ 港の仕事人

肉は肉眼と化学分析で、生肉は肉眼で検査し、特定危険部位があれば不合格(など)を田上所長から話してもらいました。今月はいよいよ「ドラマ」に満ちた牛馬検査の実際に話が移ります。△防疫などの関係で直接の施設見学は困難ということだったので、写真撮影は同所に依頼しました▽

<下>

家畜飼育の専門家がサポートしてくれるといつても、直接検査に携わるのは家畜防疫官である皆さん。動く牛馬を相手の検査のポイントは何は？

動物の検査は、何はともあれ血を抜く(笑)ことから始まります。というのは、輸入動物の検査には臨床血液、抗体、アレルギー反応、遺伝子などがあります。血液を材料とするものが圧倒的に多いからです。その際に、牛の場合は少々荒い性格でもまだ成長し

切つけないので、ロープで縛れば比較的簡単に血を抜くことができます。が、力も圧倒的に強く、動きも速い馬の場合は、ロープで胴体を片側につないだ「仮固定」の状態にした上で、首の血管から丁寧かつ素早く血を抜かねばなりません。正に必殺仕事人(笑)。緊張が伝わってきます。はい。馬は頭がいいし、感情もあります。特に目に表情が出ます。人と対面した時には馬の方が恐怖を感じているのが分かります。そんな時は、その緊張が一瞬緩んだ際に注射針を刺すのがコツ。今の針は非常によく切れるので、本当に最初に「チクッ(笑)」と感



輸入動物の血液検査をする男性検疫官=海岸通3丁目の「一突検疫場」内検査室で

私には昭和四十一年、新潟県長岡市に生まれ、北海道の酪農学園大学獣医学科を卒業し、獣医免許を取得しました。動物検疫所勤務は名古屋、福岡、大阪、鹿児島などを経て再び大阪で、もうすぐ二年を迎えます。最初の大阪時代、天王寺動物園へ行く予定のカバとキリンが十五日間ほどいた事がありました。背の高いキリンは屋外にシートで仮小屋を作り、特別な草を取り寄せて飼育しました。カバはまだ子供でしたが、人參を喉に詰まらせ、七転八

私は昭和四十九年、鳥根県津市に生まれ、旧国鉄の運輸手から転職して二十一年に動物には幼い頃から馴染んでいました。三重大学生物資源学部を卒業して動物検疫所に入所し、鹿児島、成田を経て、去年十月からこの仕事は経験が物を言います。輸出で鳥インフルが活躍を期待します。

「食の安全を守る」強い責任感

「食の安全を守る」強い責任感

「食の安全を守る」強い責任感



「食の安全を守る」強い責任感

「食の安全を守る」強い責任感

替表

★日産120帖OK ★夜間作業OK

<フスマ・クロス等リフォーム一式>

株式会社 あおい産業 0120-87-2214

港区港南4-12-4

サラ金・クレジットローンなどを利用中の方

違法なグレーゾーン金利の被害者になっていませんか?!

安心してお任せ下さい!

内緒のままでも対応OK!

弁護士の無料法律相談実施中!

あなたに合ったベストな解決方法があります《秘密厳守》

親切、ていねい、気軽に相談できる 大阪弁護士会所属 **黒川・谷 法律事務所** 弁護士 黒川 勉 (日弁連登録番号15687) 弁護士 谷 憲和 (日弁連登録番号39554)

北区西天満2-8-1大江ビル411号室 地下鉄・京阪「淀屋橋駅」歩7分、JR「大阪駅」歩15分 ☎06-6130-7880代 <受付:月~金曜/10~18時>